

九州乳業製造の牛乳に関するお詫びとお知らせ

日本生協連の商品「CO・OP 成分無調整乳」、エフコープの「低脂肪乳」、コープ九州の「くじゅう牧場牛乳」を製造している九州乳業は10月12日(月)と17日(土)製造分の牛乳において、自主的に実施している増菌検査(加速試験細菌検査)で、未開封の状態ですら賞味期限内に品質劣化が起こる可能性がある結果がでたため、牛乳の製造を中止し、総点検を行なっております。そのため、18日(日)より牛乳のお届け中止や代替え品でのお届けが発生し、皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしております。大変申し訳ございません。

11月 週までの牛乳の供給について案内しておりましたが、引き続き11月 週もお届け中止や代替えでのお届けになりますのでご案内いたします。

増菌検査とは、法令で定められた通常の検査より、高温度に設定して菌の増殖を加速させる検査で、牛乳に表示している賞味期限まで一定の品質に保つことができるかを、早く推定するために行なっています。

今回の要因と対応策

九州乳業では、今回の商品回収後、工場の総点検を実施、設備、作動、交換等の点検を実施。10月25日(日)、26日(月)にかけて日本生協連、コープ九州事業連合、エフコープによる工場点検を実施しました。

<10月12日(月)と17日(土)製造分の原因と対策>

対象商品	原因	対応策
10月12日(月)製造分	・牛乳を殺菌した後充填するまでの貯乳タンクへ送るバルブに亀裂が生じ、外気が混入したことが原因でした。	・10月12日(月)時点で亀裂のあったバルブを交換しました。
10月17日(土)製造分	・牛乳を殺菌後に貯乳しているタンクのバルブのパッキンに一部変形が見つかり、乳成分が残っていることがわかりました。 ・充填機の透明なパイプ部のパッキンに隙間が生じたことから、外気が混入した可能性がありました。	・10月17日(土)に一部変形していたパッキンの交換を行ないました。 ・充填機の透明なパイプ部分を外気の混入がないようステンレス製に交換しました。 ・日本生協連、コープ九州事業連合、エフコープの担当で対策の内容を確認しました。 ・パッキンの交換について九州乳業の社内規定では、半年に一度となっていました。期間を越えて交換されていない箇所がありましたので、交換と記録を確実にしなうよう是正を求めました。

11月 週以降のお届け予定

11月 週は大変申し訳ございませんが引き続きお届け中止や代替えでのお届けになります。
「エフコープ低脂肪乳」と「Qくじゅう牧場牛乳」はお届けできません。

九州乳業製造の一部 NB 商品もお届けできておりません。

代替え品製造で、南日本酪農協同株式会社では通常量を大幅に上回る製造を行なっていた
いております。その負担を軽減するため、コープ牛乳 1000mL は、11月 週から熊本県酪農
協同組合に製造をお願いしています。

代替お届け対象商品

CO・OP 牛乳 (産地指定) 1L (赤箱)	CO・OP 牛乳 (産地無指定) 1L (青箱)	CO・OP 牛乳 (産地指定) 500mL	CO・OP 牛乳ミニ (産地指定) 200mL x 6
南日本酪農製造	熊本県酪農製造	南日本酪農製造	南日本酪農製造
エフコープ、コープさが生協、 ララコープ、生協水光社、 コープおおいた	エフコープ、コープさが生協、 ララコープ、生協水光社、 コープおおいた	エフコープ、コープさが生協、 ララコープ、生協水光社、 コープおおいた	エフコープ、コープさが生協、 ララコープ、生協水光社、 コープおおいた

九州乳業の製造と供給再開の予定 (11月 週以降のお届けの予定)

九州乳業では 18日以降工場の総点検を実施、再発防止にむけた対応を行い、10月30日(土)から序々に生産を再開、NB 商品製造開始後 1週間以上の監査 (製造工程の安定確認、安定的な製造体制の確認)を行なったうえで、お届け再開の判断を行なう必要があると判断しています。

生協の商品のお届け、品揃えができるのは、共同購入は 11月 週 (11月 16日 ~)、店舗は 11月 16日(月)になる見込みです。コープ牛乳 1000mL は、11月 週分も引き続き熊本県酪農協同組合に製造をお願いしています。九州乳業の製造工程の安定確認、安定的な製造工程体制の確認ができるまで、当面の間お願いする予定です。